

KOIZUMI

コイズミ照明器具用部品

施工説明書

型 番 AE50265E・AE50266E

お客様へ

部品の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
⚠ 厳守	部品の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →部品の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	製品に直接断熱材をかぶせた施工はできません。 →火災・感電の原因になります。 断熱材を使用される場合は、必ず金属ボックスを使用してください。
	説明書に記載された適合負荷、最大負荷容量以下でご使用ください。照明器具以外の負荷は使用できません。 →火災・感電の原因になります。
⚠ 厳守	適合負荷の切り替えは所定の切替方法にて、正しく設定してください。 →誤った設定で使用された場合、部品の故障や火災の原因になります。
⊘ 分解禁止	部品を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
⊘ 禁止	部品のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、部品の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され、火災・落下によるけがの原因になります。
	ランプまたは部品交換の際は、壁スイッチもしくはブレーカによって機械的に電源を切ってください。 →メモリーライトコントローラTSのON/OFFスイッチで消灯状態にしても電源は切れていません。感電・故障の原因になります。
⚠ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
⊘ 水ぬれ禁止	この部品は非防水です。湿気が多い場所や屋外では使用できません。 →電子部品の劣化や絶縁不良による火災・感電の原因になります。
⊘ 禁止	周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の環境以外では使用しないでください。 →電子部品の劣化や絶縁不良による火災・感電の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。

■仕様

型番	AE50265E / AE50266E
定格電圧	AC100V
回路数	4回路
シーン数	5シーン
最大負荷容量	1回路あたり：2A(200VA)以下 4回路合計：8A(800VA)以下
配線機能	3路4路配線端子付
有線通信機能	2台連動で8回路連動可能 スマートアダプタ(AE48233E)による通信機能
無線通信機能	スマートブリッジ(AE50264E)との無線通信
適合スイッチボックス	3個用金属製スイッチボックス(カバー付) JIS C 8340

※本機の適合負荷はコイズミ照明器具専用となります。
※蛍光灯器具、ローボルトハロゲン照明器具、センサ付き照明器具、白熱灯及び調光機能付きの電球形LEDランプは使用できません。
※LED照明器具を調光対応で使用される場合は、当社の連続調光用をお選びください。
※LED照明器具を調光調色対応で使用される場合は、当社の調光調色用をお選びください。
※ブルレス機能のある照明器具はブルレススイッチが作動し、点灯状態が切り替わる場合があります。
詳しくは照明器具の取扱説明書をご覧ください。
※設置する環境で無線通信距離が短くなる場合があります。

■施工前の確認

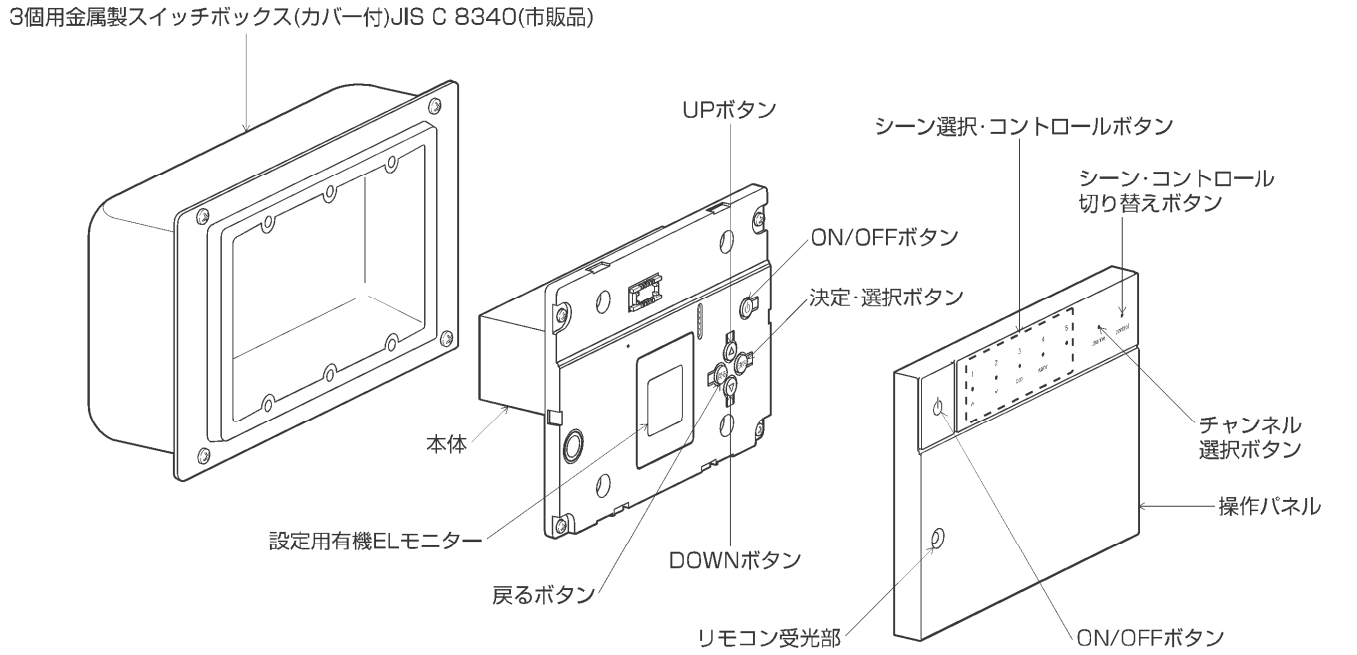
1 部品重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 部品面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

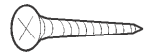
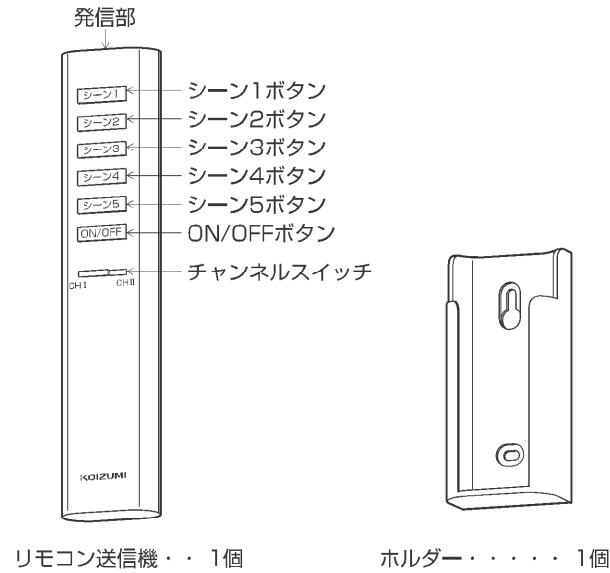


〈付属部品〉



取付ネジ
(平ワッシャ・スプリングワッシャ付)
M4×15mm・・・・・・・・・・ 4本

〈リモコン送信機一式〉



取付用木ネジ・・・・・・・・ 2本



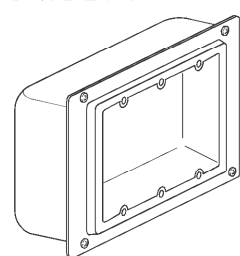
単3形電池・・・・・・・・ 2本

1 スwitchボックスを取付ける

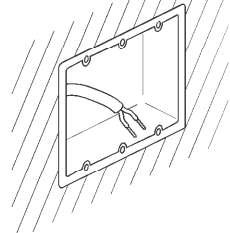
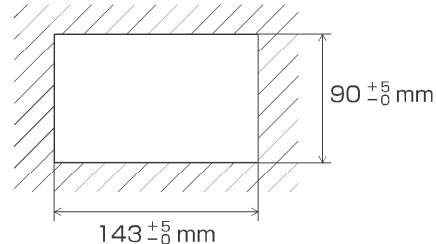
3個用金属製スイッチボックス(カバー付き)(市販品)を使用する。

※必ず金属製のスイッチボックスを使用してください。

※2台以上を近接して設置する場合は、操作パネルを外す際の工具が入るように十分にスペースを設けてください。

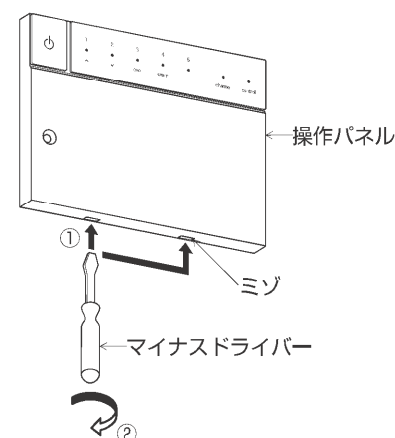


3個用金属製スイッチボックス(カバー付)
JIS C 8340



2 操作パネルを取外す

先端をテープなどで保護した刃幅6mm～9mmのマイナスドライバーなどを操作パネル側のミゾ(2ヶ所)に差し込み、マイナスドライバーを90° ゆっくり回転させて操作パネルが破損しないように本体から取外す。



3 電源線を接続する

電線の被覆を10mm～11mmむき、接続端子に確実に差し込む。

はずす時はドライバーなどで解除ボタンを押し、電源線を抜く。

※電源線、外部スイッチへの配線、照明器具への出力線はVVFまたはIV(銅単線) ϕ 1.6または ϕ 2.0専用です。

※結線図に従って接続してください。

⚠ 警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。

＜連動およびスマートアダプタと接続する場合＞

電線の被覆を10mm～11mmむき、連動用端子に確実に差し込む。

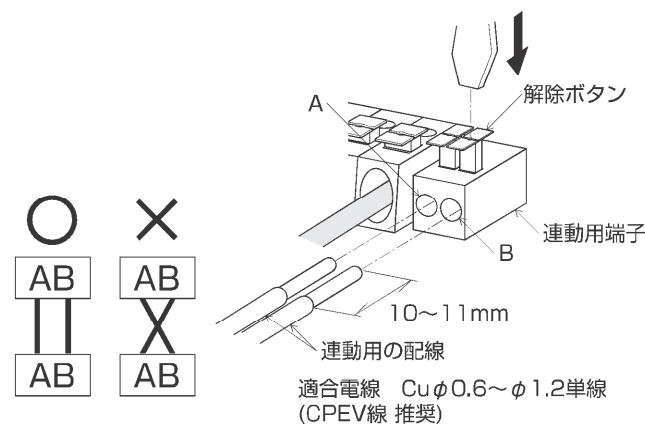
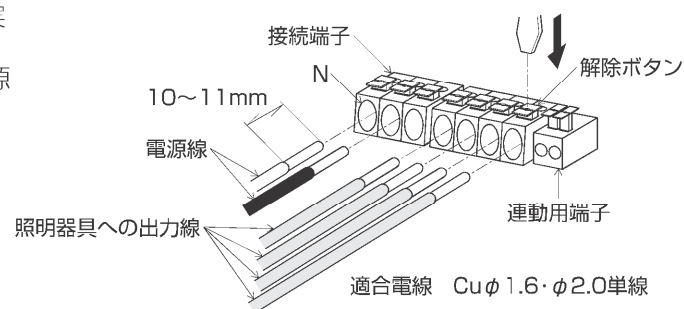
はずす時はドライバーなどで解除ボタンを押し、電線を抜く。

連動およびスマートアダプタとの配線は ϕ 0.6～ ϕ 1.2の銅単線専用(CPEV線を推奨します)です。

※連動設定は、取扱説明書をご覧ください。

※連動用端子には極性があります。必ず極性を合わせて配線してください。

※スマートアダプタ接続時は連動できません。



＜結線の際のご注意＞

※照明器具のニュートラル側は接続端子のN側に接続してください。

※ニュートラルの接続はジョイントボックスをご使用ください。
スイッチボックス内では接続できません。

※本体とジョイントボックスの間は3m以下にしてください。

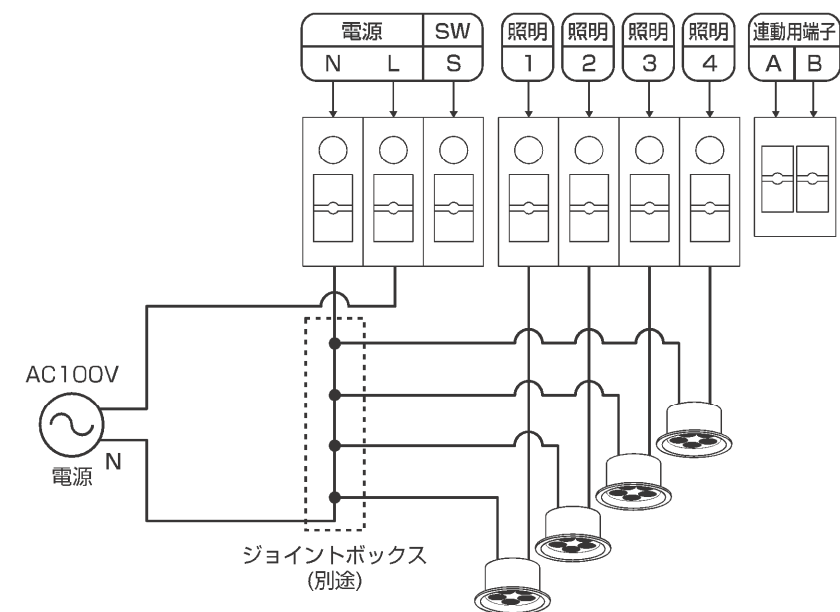
3mを超える場合、チラツキの原因になります。

※ランプ交換の際は、壁スイッチもしくはブレーカによって機械的に電源を切ってください。

※表示灯付きスイッチタイプは使用できません。

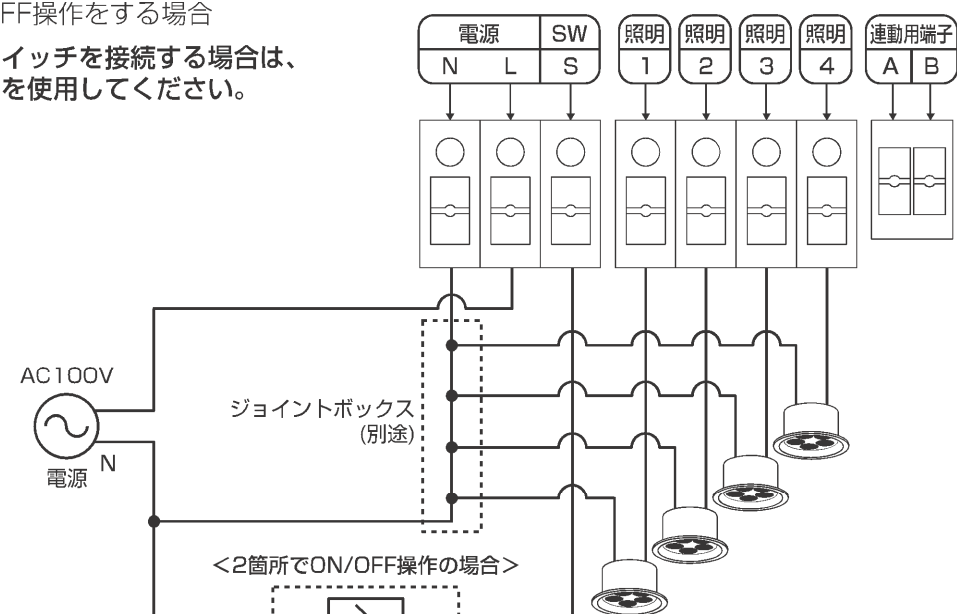
結線図

●器具への基本配線の場合



●2箇所以上でON/OFF操作をする場合

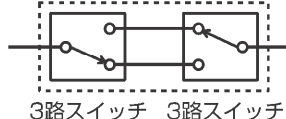
※2箇所以上で外部スイッチを接続する場合は、必ず接続端子の「S」を使用してください。



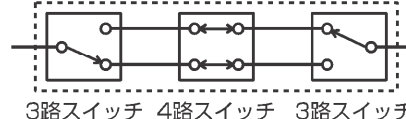
＜2箇所でON/OFF操作の場合＞



＜3箇所でON/OFF操作の場合＞

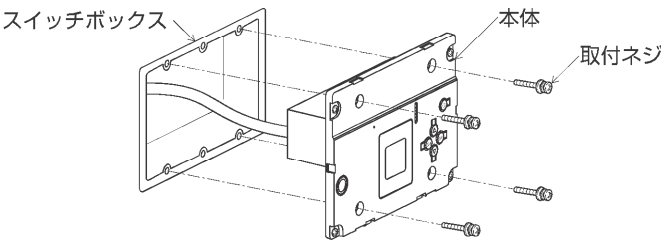


＜4箇所でON/OFF操作の場合＞



4 本体を取付ける

本体をスイッチボックス(市販品)に合わせ、取付ネジで取付ける。

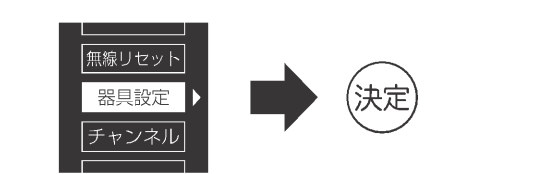


5 適合負荷の設定をする

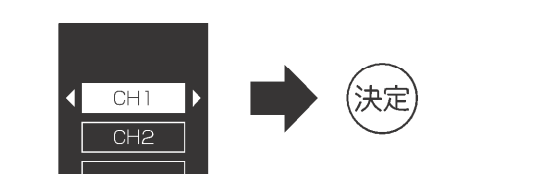
本体に電源を投入し、接続している照明器具をON/OFFまたは、調光・調光調色、未使用に設定してください。

⚠ 警告 設定と異なる負荷(照明器具)を使用しないでください。
火災・故障の原因になります。

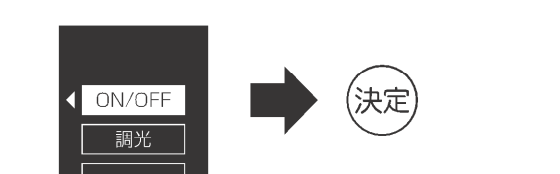
①「器具設定」を選択し、決定ボタンを押す。



②設定するチャンネル(回路)を選択し、決定ボタンを押す。



③使用する負荷設定を選択し、決定ボタンを押す。

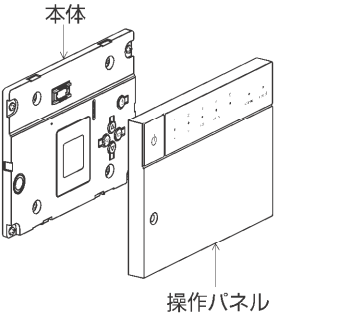


ON/OFF器具	位相調光器具	調光調色器具	AE48145E(調光)※	未使用

※マルチシグナルコンバータ(AE48145E)を調光で使用する場合は、「コンバータ」を選択、
マルチシグナルコンバータ(AE48145E)を調色で使用する場合は、「調光調色」を選択してください。

6 操作パネルを取付ける

- 操作パネルをパネル上部から本体にはめ込む。
- ※操作パネル及び本体の接続コネクタに注意しながらはめ込んでください。
- ※接続コネクタをドライバーなどの金属で触れないようにしてください。



7 点灯の確認を行なう

- 電源を入れて、1回路ごとに照明器具が正常に操作できることを確認する。
- ※操作方法は、付属の取扱説明書を参照してください。

！ 部品の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 表示灯付きスイッチタイプは使用できません。
- 照明器具の光源がちらつく場合があります。コイズミ照明お客様相談室、サービスセンターにご相談ください。

■部品のお手入れ ⚠ 注意 部品のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 部品の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具用部品

取扱説明書

型 番 AE50265E・AE50266E

お客様へ

部品の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
厳守	部品の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	禁止	部品のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。
禁止	製品に直接断熱材をかぶせた施工はできません。→火災・感電の原因になります。断熱材を使用される場合は、必ず金属ボックスを使用してください。 説明書に記載された適合負荷、最大負荷容量以下でご使用ください。照明器具以外の負荷は使用できません。→火災・感電の原因になります。		埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものを ご使用ください。→樹脂製ボックスの場合、部品の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。 ランプまたは部品交換の際は、壁スイッチもしくはブレーカによって機械的に電源を切ってください。→メモリーライトコントローラTSのON/OFFスイッチで消灯状態にしても電源は切れていません。感電・故障の原因になります。
厳守	適合負荷の切り替えは所定の切替方法にて、正しく設定してください。→誤った設定で使用された場合、部品の故障や火災の原因になります。	厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
分解禁止	部品を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。		

注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
水ぬれ禁止	この部品は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→電子部品の劣化や絶縁不良による火災・感電の原因になります。	禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
禁止	周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の環境以外では使用しないでください。→電子部品の劣化や絶縁不良による火災・感電の原因になります。		

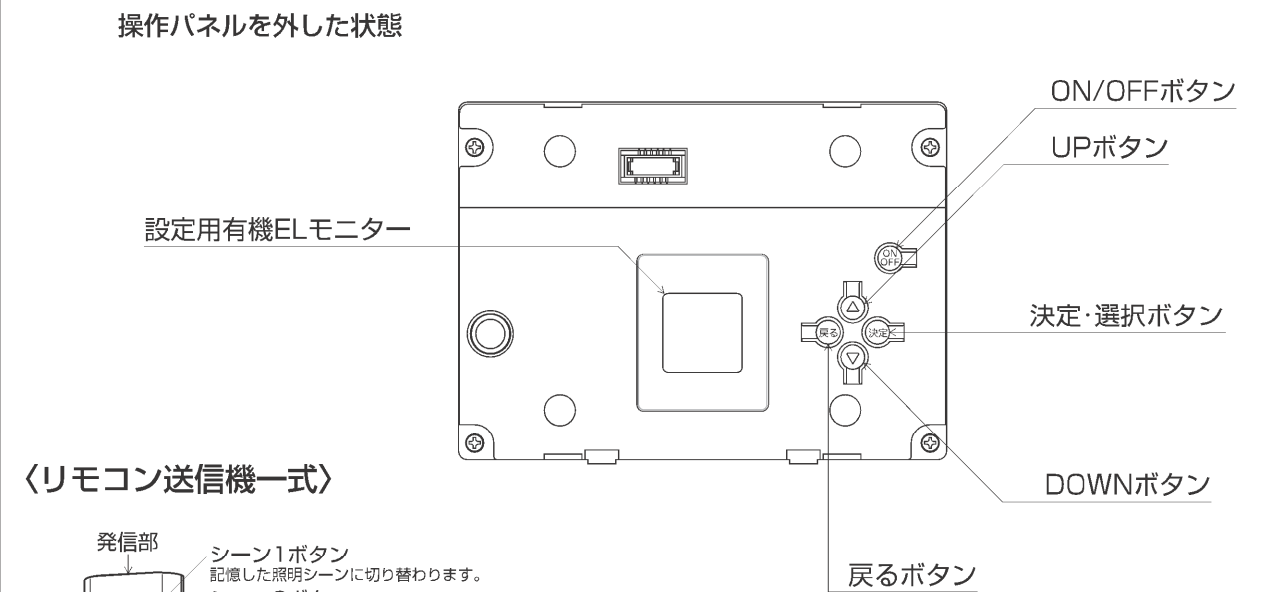
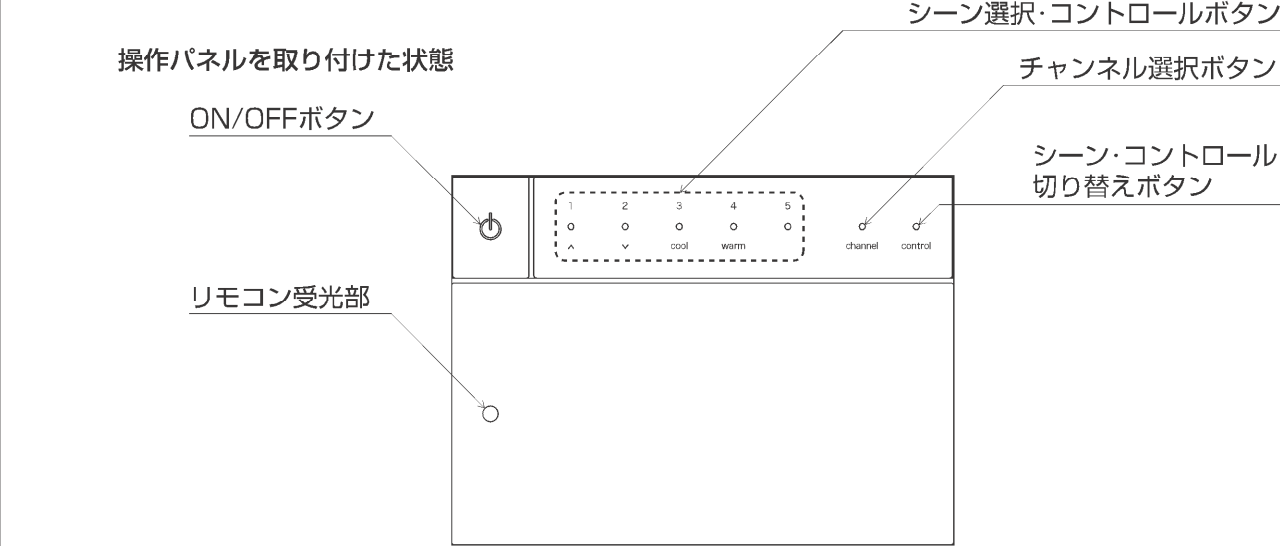
目次

■メモリーライトコントローラTSについて・P.2	■リモコン送信機について・・・・・・・・・・P.8
■日常の使用・・・・・・・・・・・・・P.3	■修理を依頼される前に・・・・・・・・・・P.10
■シーンの設定と呼び出し・・・・・・・・・・P.4	■使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・P.11
■各種設定・・・・・・・・・・・・・P.5	■部品のお手入れ・・・・・・・・・・・・・P.11

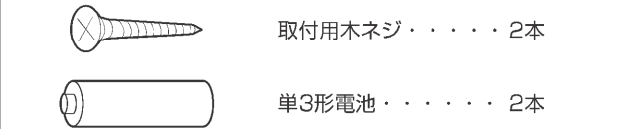
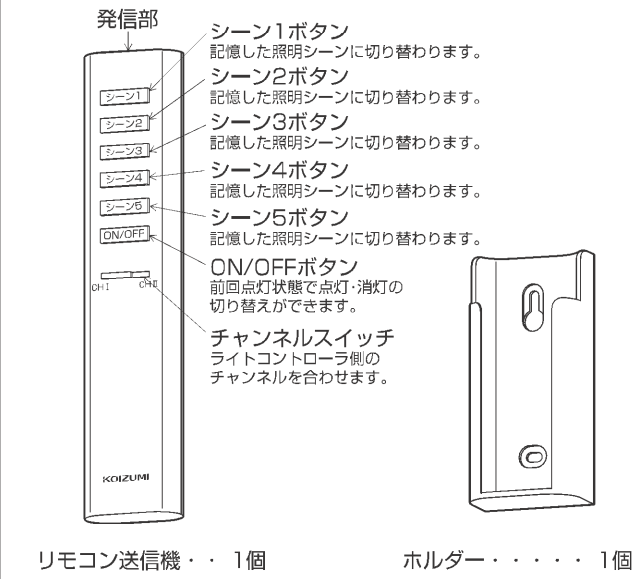
コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。
＜ 保 証 に つ い て ＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雪、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合		＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間		※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
お買上年月日		※This warranty is valid only in Japan.
お客様	お名前	取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
	ご住所	
	電話 ()	

■メモリーライトコントローラTSについて

※この図は一部抽象化した外観図です。



〈リモコン送信機一式〉

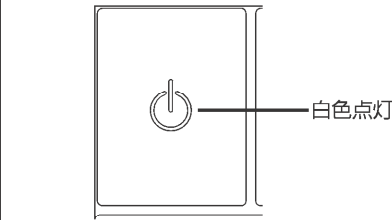


■日常の使用

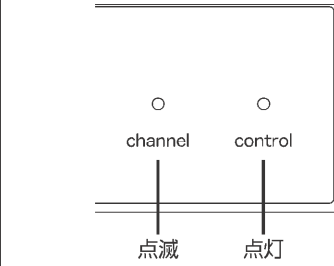
■照明の操作

ライトコントローラTSの各チャンネルをコントロールします。

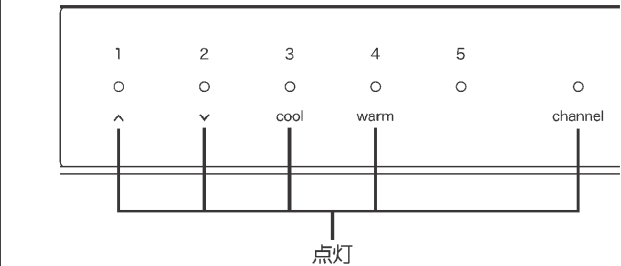
- ①ON/OFF ボタンをタッチして照明を点灯させる。
※点灯状態では、電源マークが白色に点灯します。



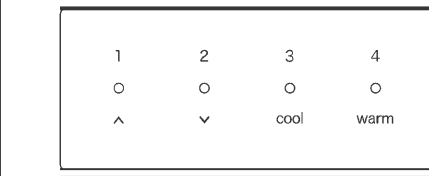
- ②control をタッチして、操作モードにする。
操作モードの時は、control が点灯、channel が点滅する。



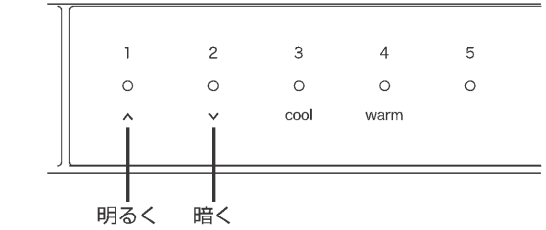
- ③channel をタッチして、チャンネル選択モードにします。チャンネル選択モードの時は、channel と各チャンネルが点灯する。



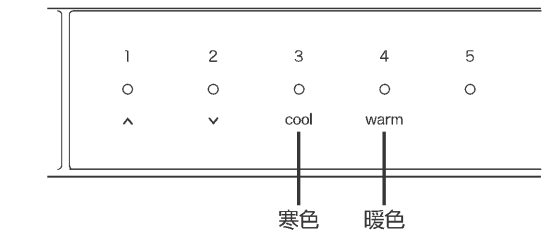
- ④操作するチャンネル(1～4)をタッチする。



- ⑤明るさを操作するには、▲ ▼ をタッチして、明るさを変える。



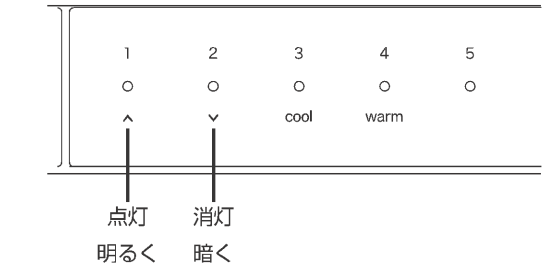
光色を操作するには、cool warm をタッチして光色を変える。



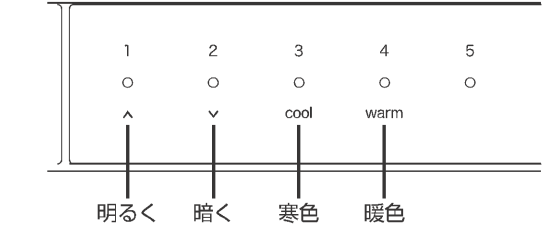
※設定されているチャンネルの負荷の種類によって操作できる項目が異なります。

※保安灯点灯できる照明器具は ▼ を操作し消灯状態にした状態で、▲ を2回押すことで保安灯が点灯します。

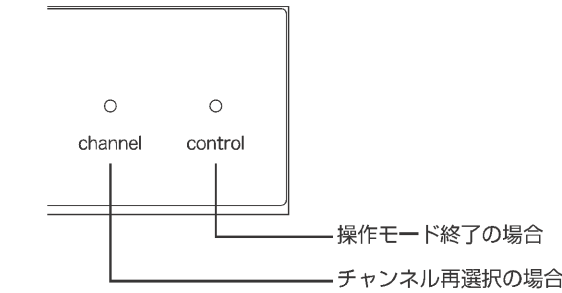
ON/OFF、調光の負荷の場合



調光調色の負荷の場合



チャンネル選択に戻る場合は channel をタッチしてチャンネルを再選択します。操作モードを終了する場合は control をタッチする。



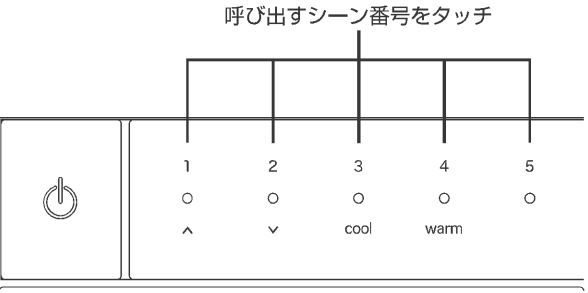
■シーンの設定と呼び出し

■シーンの呼び出し

あらかじめ記憶したシーンを呼び出します。

①シーンを呼び出す時は、シーンボタン(1～5)をタッチして呼び出す。呼び出したシーンの番号が点灯する。

※シーンは、電源マークがOFF(赤点灯)の状態からでも呼び出しが可能です。

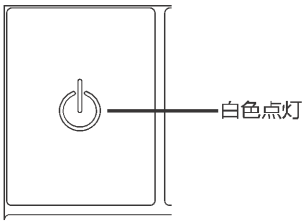


■シーンの設定

照明の状態を5シーンまで記憶することができます。

①ON/OFFボタンをタッチして照明を点灯させる。

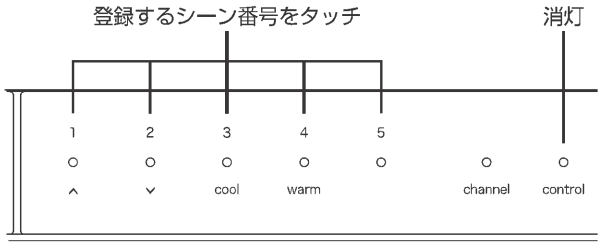
※点灯状態では、電源マークが白色に点灯します。



②照明の操作を行い、照明をお好みの状態に設定する。照明の操作方は、前ページ「照明の操作」をご覧ください。

③control が消灯している時に、記憶したいシーン番号(1～5)を約3秒間長押しすると、長押しした時の照明の状態を記憶する。登録が完了すると、ブザー(ピ・ピー)が鳴る。

※control が点灯している場合は、control ボタンをタッチしてください。

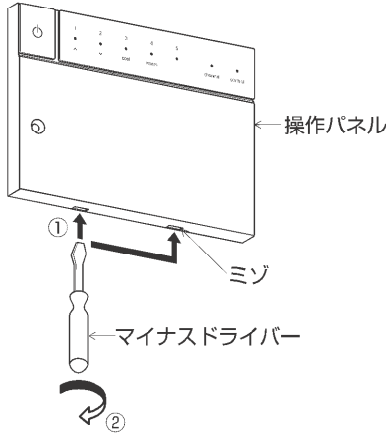


■各種設定

設定は全面の操作パネルを外して有機ELモニターで設定を行ってください。

操作パネルの外し方

先端をテープなどで保護した刃幅6mm～9mmのマイナスドライバーなどを操作パネル側のミゾ(2ヶ所)に差し込み、マイナスドライバーを90°ゆっくり回転させて操作パネルが破損ないように本体から取外す。



■照明の負荷設定

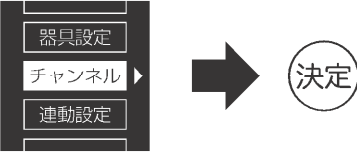
各チャンネルの照明の制御設定を行います。

⚠ 警告 負荷容量を超えたり、調光や調光調色できない照明器具を調光・調光調色で使用しないでください。火災・故障の原因となります。工事店・電器店にご相談ください。

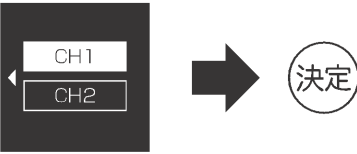
■リモコンのチャンネル設定

付属のリモコンとのチャンネル(CH1、CH2)を設定します。

①「チャンネル」を選択して、決定ボタンを押す。



②△▽ボタンで設定するチャンネルを選択して決定ボタンを押す。

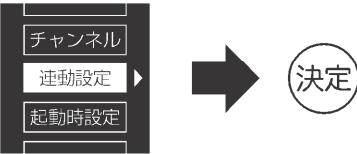


※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

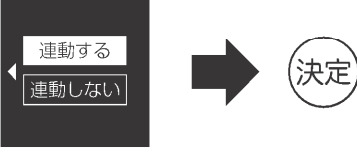
■連動設定

メモリーライトコントローラTSを2台連動することができます。

①「連動設定」を選択して決定を押す。



②メモリーライトコントローラTSを連動する場合は、「連動する」を選択して決定ボタンを押す。



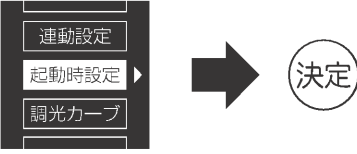
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※スマートアダプタもしくはスマートブリッジと接続している場合は連動できません。

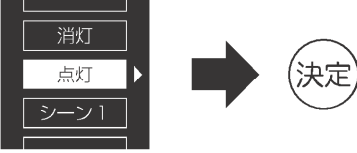
■起動時設定

製品に電源が投入された時の点灯または消灯状態を設定します。

①「起動時設定」を選択して決定を押す。



②「点灯」「シーン1」～「シーン5」または「消灯」を選択して決定ボタンを押す。



点灯：消灯前の点灯状態で点灯します。

シーン1～シーン5：設定されたシーンで点灯します。

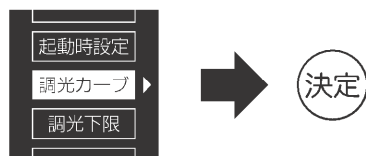
※工場出荷時は、消灯に設定されています。

※シーン1～シーン5に設定する場合は連動設定をOFF(連動しない)に設定してください。正常に動作しない場合があります。

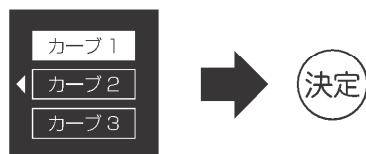
■調光カーブの設定(器具設定が調光のみ)

調光時の調光カーブを設定します。

①「調光カーブ」を選択して決定ボタンを押す。



②「カーブ1」～「カーブ3」を選択して決定ボタンを押す。

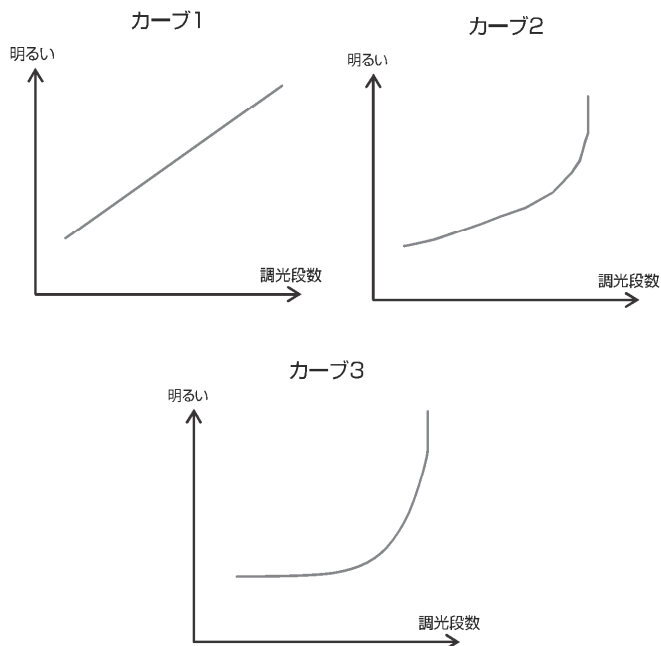


※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※器具設定がON/OFF、調光調色の場合は調光カーブ設定は反映されません。

※工場出荷時はカーブ2です。

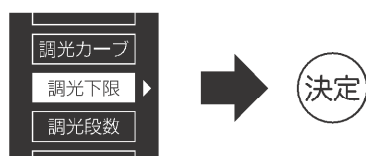
調光カーブ



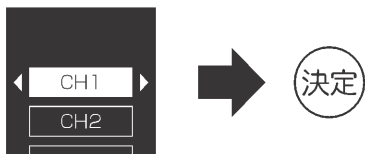
■調光下限値(器具設定が調光のみ)

調光下限値を設定します。

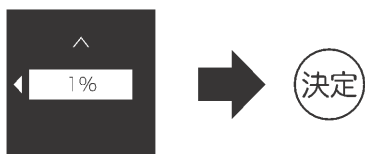
①「調光下限」を選択して決定ボタンを押す。



②設定するチャンネルを選択して決定ボタンを押す。



③△▽ボタンを押して調光下限値を設定して決定ボタンを押す。

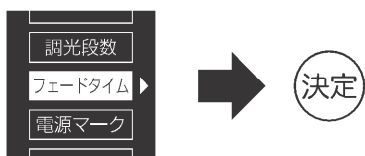


※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

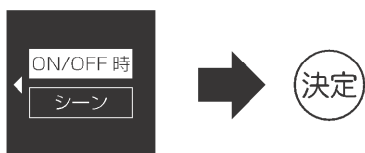
■フェードタイム

ON/OFF時、シーン切り替え時のフェードタイムを設定します。

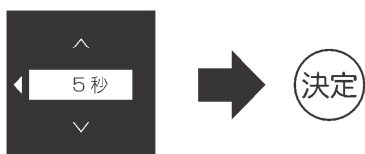
①「フェードタイム」を選択して決定ボタンを押す。



②「ON/OFF時」もしくは「シーン」を選択して決定ボタンを押す。



③△▽ボタンを押してフェードタイムを設定して決定ボタンを押す。



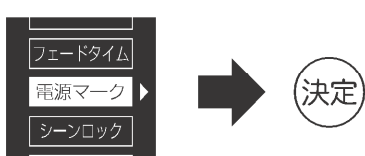
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※工場出荷時は、0秒に設定されています。

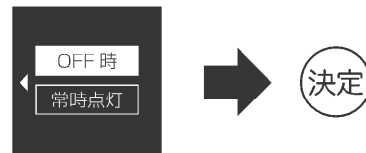
■電源マーク

ON/OFFボタンの電源マークの点灯状態の設定をします。

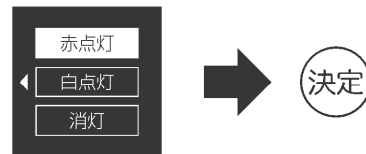
①「電源マーク」を選択して決定ボタンを押す。



②「OFF時」または「常時点灯」を選択して決定ボタンを押す。常時点灯を選択した場合、ON/OFFに関わらず電源マークが白色点灯します。



③OFF時を選択した場合、「赤点灯」「白点灯」「消灯」を選択して決定ボタンを押す。



赤点灯 … OFF時に電源マークが赤点灯します。

白点灯 … OFF時に電源マークが白点灯します。

消灯 … OFF時に電源マークが消灯します。

※工場出荷時は、赤点灯です。

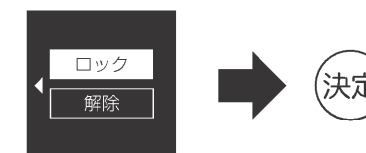
■シーンロック

設定されているシーンの状態にロック(変更不可)をかけます。

①「シーンロック」を選択して、決定ボタンを押す。



②シーンを変更不可にする場合は「ロック」を選択して決定ボタンを押す。



※ロックする場合、予めシーン設定を完了させてから設定を行ってください。

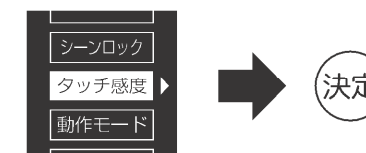
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※工場出荷時は解除に設定されています。

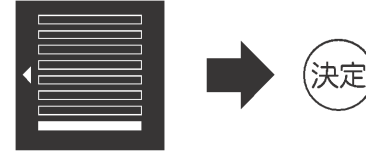
■タッチパネルの感度調整

タッチパネルの感度を調整します。

①「タッチ感度」を設定して決定ボタンを押す。



②△▽押し感度のレベルを調整して決定ボタンを押す。



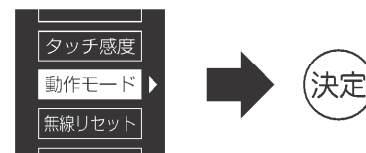
※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

※工場出荷時は、小(レベル表示：下から3段階目)の状態に設定されています。

■動作モード

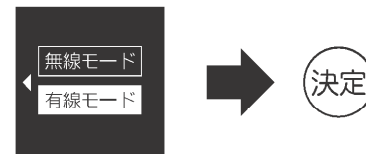
通信モードを有線または、無線に選択します。

①「動作モード」を設定して、決定ボタンを押す。



②「無線モード」「有線モード」を選択して、決定ボタンを押す。

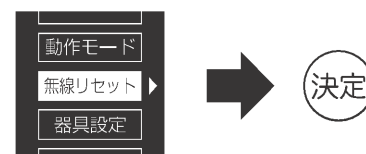
スマートアダプタ[AE49233E]ご使用の場合は有線を選択
スマートブリッジ[AE50264E]ご使用の場合は無線を選択



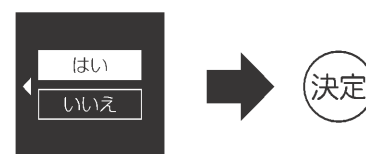
■無線のリセット

スマートブリッジとの接続を解除します。

①「無線リセット」を選択して決定ボタンを押す。



②リセットする場合は「はい」を選択して決定ボタンを押す。



※選択された状態で戻るボタンを押した場合、設定は反映されません。

■操作音の設定

タッチパネルをタッチした時の操作音を鳴らなくすることができます。

①タッチパネルを取り付けた状態で、ON/OFFボタンを10秒以上長押しする。

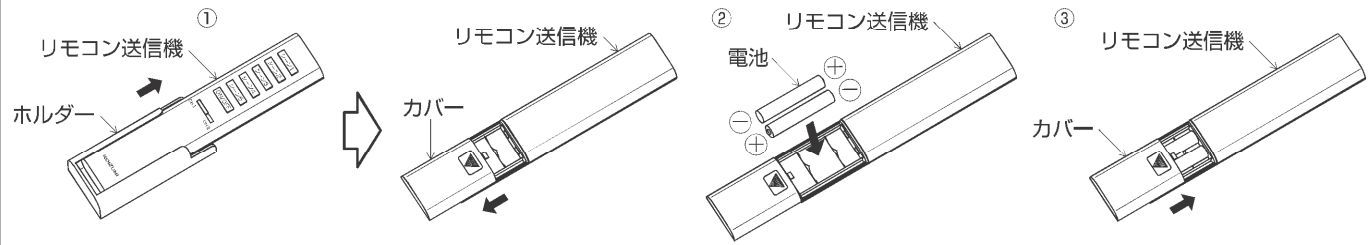
②操作音を鳴らす場合、ON/OFFボタンを10秒以上長押しする。

■リモコン送信機について

1 リモコン送信機に電池を入れる

- ①リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
- ②電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③カバーを取付ける。

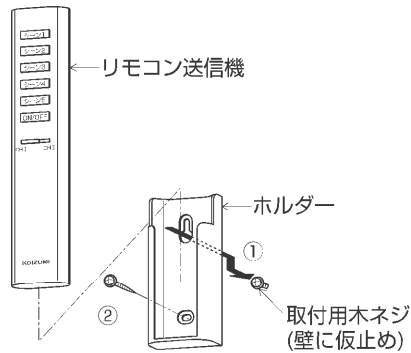
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

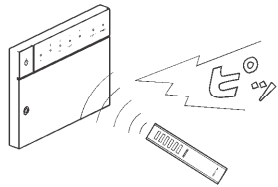
- ①必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ②2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

※その際、強く締め込まないようにしてください。
ホルダーが破損するおそれがあります。



3 リモコン送信機を操作する

ホルダーから取り出し、部品に向けて行なってください。作動すると確認音が本体よりします。



4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミメモリーライトコントローラ専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、部品とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。
電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。
※充電式電池は使用できません。
- 部品によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- スイッチを早く押すと反応しないことがありますので、ゆっくり操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。
過熱・故障の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃべい物がある場合、作動しない場所があります。
しゃべい物をさけて再度ボタンを押してください。
- 部品をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいと、リモコン送信機が作動しにくい場合があります。

修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現 象	考えられる原因	処 置
照明器具を操作できない	▶ 壁スイッチがOFFになっている	▶ 壁スイッチをONにする
	▶ ランプが切れている	▶ ランプを交換する
	▶ 起動時設定の選択が「消灯」になっている	▶ 起動時設定の選択を「消灯」以外に設定する(■起動時設定についてをご確認ください)
リモコン操作ができない	▶ チャンネルが合っていない	▶ ライトコントローラとリモコン送信機のチャンネルを合わせる(■リモコンのチャンネル設定についてをご確認ください)
	▶ リモコン送信機電池の極性⊕⊖が間違っている	▶ 電池を正しく入れる
	▶ リモコン送信機の電池が切れている	▶ 電池を交換する
調光や調光調色できない	▶ 適合負荷の設定がON/OFF対応に設定されている	▶ 調光・調光調色可能な照明器具であることを確認してから工事店・電器店に相談する
	▶ 調光や調光調色できない照明器具を調光・調光調色対応で使用している	▶ 適合負荷の設定をON/OFF対応にする(適合負荷の設定を変更した場合は必ず、プレーカや壁スイッチで電源を切ってから操作してください)
	▶ 調光や調光調色できない照明器具を使用している	▶ そのまま(ON/OFF対応)で使用する
設定したシーンと異なる点灯状態になっている	▶ 照明器具に付属しているリモコン送信機で点灯状態を変更した	▶ 点灯させたいシーン(1～5)ボタンを押すと、設定したシーンの点灯状態に切り替わる
シーンの設定の変更ができない	▶ 設定したシーンの状態にロックがかかっている	▶ シーンロックの選択を「解除」に設定する(■シーンロックについてをご確認ください)
タッチパネルを操作した時に操作音がしない	▶ 操作音の設定が消音モードになっている	▶ タッチパネルの消音モードを解除する(■操作音の設定についてをご確認ください)
照明器具に付属しているリモコン送信機で操作できない	▶ 設定ボタンで照明器具が消灯状態にされている	▶ 設定ボタンで照明器具を点灯状態にする
連動設定ができない	▶ 正しく配線されていない	▶ 工事店・電器店に相談する
	▶ スマートアダプタが接続されている	▶ スマートアダプタが接続されている時は連動はできません。



部品の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 製品には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換をおすすめします。
※周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合など寿命が短くなります
- 内部部品の発熱により表面が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 調光時に、うなり音がすることがありますが、異常ではありません。
- 停電などで電源が切れた場合、ON/OFFボタンを押すと、停電前の状態で点灯します。
- 照明器具に付属しているリモコン送信機で点灯状態を変更していた場合でも、本機のON/OFFボタンでOFF→ONした場合は、本機で設定している点灯状態になります。
- 照明器具の光源がちらつく場合があります。コイズミ照明お客様相談室、サービスセンターにご相談ください。
- 照明(1～4)それぞれを同じ光源色に設定していても器具により光源色が異なる場合があります。
- 表示灯付きスイッチタイプは使用できません。

■部品のお手入れ △注意 部品のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 部品の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。